



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東

コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小河 義美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業支援本部副本部長 (兼) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦 (TEL) 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	271,004	1.8	26,607	2.2	30,702	1.5	29,751	34.0
2023年3月期第2四半期	266,232	18.4	26,026	△4.5	30,242	1.4	22,210	0.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 50,951百万円(35.8%) 2023年3月期第2四半期 37,518百万円(7.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	104.13	—
2023年3月期第2四半期	75.08	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	808,627	355,209	42.0	1,189.06
2023年3月期	765,606	310,435	38.6	1,033.52

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 340,018百万円 2023年3月期 295,209百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	562,000	4.5	61,000	28.4	65,500	25.9	54,000	32.7	188.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	286,942,682株	2023年3月期	302,942,682株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	987,288株	2023年3月期	17,307,785株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	285,710,046株	2023年3月期2Q	295,807,413株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、経済活動の正常化に伴い景気の緩やかな持ち直しの動きが続いたものの、世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇、ウクライナ情勢の長期化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

当社グループの主要市場でも一部で需要の回復傾向がみられたものの、その回復が緩やかなものにとどまるなど、厳しい事業環境となりました。このような環境の中、当社グループでは、需要が伸長する製品については販売機会を着実に捉え販売数量を伸ばすとともに、収益改善に向けた取り組みの加速、徹底したコストダウンなどを実施してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,710億4百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は266億7百万円（同2.2%増）、経常利益は307億2百万円（同1.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益などにより、297億51百万円（同34.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、化粧品原料の1,3-ブチレングリコールをメディカル・ヘルスケア事業セグメントからマテリアル事業セグメントへ、新規投与デバイスの研究開発機能をセイフティ事業セグメントからメディカル・ヘルスケア事業セグメントへ移管しています。前年同期比較については、前年同期の数値を移管後のセグメントに組み替えて比較しております。

#### [メディカル・ヘルスケア事業]

ライフサイエンス事業は、キラル関連製品の販売が好調に推移したものの、前年度末に医薬品開発製造受託事業の子会社を売却した影響により、減収となりました。

コスメ・健康食品事業は、インバウンドの増加などにより販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、68億77百万円（前年同期比14.4%減）、マーケティング活動に伴う経費の増加などにより、営業利益は4億81百万円（同31.5%減）となりました。

#### [スマート事業]

液晶表示向けフィルム用の酢酸セルロースや高機能フィルムなどのディスプレイ/オプト事業は、高機能フィルムの販売数量が減少したものの、需要が低迷する中でも液晶パネルの在庫調整が一巡したことや、海外向けの販売拡大により酢酸セルロースの販売数量が増加し、増収となりました。

電子材料向け溶剤やレジスト材料などのIC/半導体事業は、半導体や液晶パネル需要の低迷が継続したことにより販売数量が減少し、減収となりました。

当部門の売上高は、146億83百万円（前年同期比9.2%減）、利益面では、販売数量の減少や移動平均差の影響などにより、営業損失11億1百万円（前年同期は営業利益3億73百万円）となりました。

#### [セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などのモビリティ事業は、半導体不足の緩和などにより自動車生産が前年同期より回復し販売数量が増加したことにより、増収となりました。

当部門の売上高は、471億32百万円（前年同期比18.6%増）、利益面では、生産地統廃合に伴う経費の増加などにより、営業損失1億40百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

#### [マテリアル事業]

アセチル事業の酢酸は、主要誘導品の酢酸ビニルや高純度テレフタル酸の需要減少などにより酢酸市況が軟化し、減収となりました。

酢酸誘導体は、電子材料や液晶ディスプレイ向けの需要減少により販売数量が減少し、減収となりました。

アセテート・トウは、加熱式たばこ用の需要増加などによる販売数量の増加、原燃料価格上昇や需要増加を受けた販売価格の是正などにより、増収となりました。

ケミカル事業は、インバウンドによる国内化粧品向け需要の回復により1,3-ブチレングリコールの販売数量が

増加したものの、カプロラクトン誘導体の中国のウレタン向けなどの需要減少による販売数量の減少、エポキシ化合物の電子材料や液晶ディスプレイ向けの需要減少による販売数量の減少により、減収となりました。

当部門の売上高は、911億25百万円（前年同期比21.2%増）、販売価格の是正や為替の影響などにより、営業利益は211億19百万円（同103.3%増）となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどポリプラスチック株式会社の事業は、前年度から続く自動車部品の在庫調整の影響が第2四半期初めまで続いたことや、IT関連産業の需要低迷などにより販売数量が減少し、減収となりました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂、包装フィルム、水溶性高分子などダイセルミライズ株式会社の事業は、OA機器や住宅設備機器の需要減少などにより販売数量が減少し、減収となりました。

当部門の売上高は、1,086億96百万円（前年同期比12.0%減）、販売数量の減少などにより、営業利益は61億25百万円（同57.6%減）となりました。

[その他]

その他部門は、防衛関連事業からの撤退などにより、減収となりました。

当部門の売上高は、24億90百万円（前年同期比29.2%減）、営業利益は1億22百万円（同3.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

総資産は、現金及び預金や有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比し430億20百万円増加し、8,086億27百万円となりました。

負債は、短期社債等の減少により、前連結会計年度末に比し17億52百万円減少し、4,534億18百万円となりました。

また純資産は、3,552億9百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,400億18百万円となり自己資本比率は42.0%となりました。

② 当期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は929億19百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は491億92百万円（前年同期は、77億70百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期当期純利益400億70百万円および減価償却費152億83百万円であり、資金減少の主な内容は、売上債権の増減額26億27百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は267億73百万円（前年同期は、172億1百万円の減少）となりました。資金増加の主な内容は、投資有価証券の売却及び償還による収入114億0百万円であり、資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出325億76百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少281億2百万円（前年同期は、11億56百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、長期借入れによる収入95億19百万円であり、資金減少の主な内容は、短期社債の純増減額100億0百万円、社債の償還による支出100億円および配当金の支払額57億13百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月11日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年11月2日公表の「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	93,840	97,622
受取手形及び売掛金	101,534	109,816
棚卸資産	177,169	183,284
その他	34,149	27,385
貸倒引当金	△66	△118
流動資産合計	406,627	417,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,809	66,052
機械装置及び運搬具（純額）	74,802	75,198
土地	35,639	37,908
建設仮勘定	75,803	98,214
その他（純額）	5,076	5,452
有形固定資産合計	256,130	282,825
無形固定資産		
のれん	338	345
その他	10,853	11,068
無形固定資産合計	11,191	11,414
投資その他の資産		
投資有価証券	67,914	71,386
繰延税金資産	2,425	2,567
退職給付に係る資産	7,648	7,504
その他	13,707	14,973
貸倒引当金	△40	△36
投資その他の資産合計	91,656	96,396
固定資産合計	358,978	390,637
資産合計	765,606	808,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,167	68,321
短期借入金	36,267	31,002
短期社債	30,000	20,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	12,742	13,625
未払法人税等	5,343	4,228
修繕引当金	3,565	1,585
その他	46,768	44,470
流動負債合計	220,856	213,233
固定負債		
社債	100,000	90,000
長期借入金	108,823	115,095
繰延税金負債	14,394	18,375
役員退職慰労引当金	71	35
修繕引当金	—	342
環境対策引当金	122	122
退職給付に係る負債	4,735	4,626
資産除去債務	1,170	1,208
その他	4,995	10,377
固定負債合計	234,314	240,184
負債合計	455,170	453,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	132	126
利益剰余金	204,529	214,182
自己株式	△15,716	△895
株主資本合計	225,221	249,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,906	37,536
繰延ヘッジ損益	43	—
為替換算調整勘定	33,519	49,544
退職給付に係る調整累計額	3,519	3,247
その他の包括利益累計額合計	69,988	90,329
非支配株主持分	15,225	15,191
純資産合計	310,435	355,209
負債純資産合計	765,606	808,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	266,232	271,004
売上原価	190,145	196,069
売上総利益	76,087	74,935
販売費及び一般管理費	50,061	48,327
営業利益	26,026	26,607
営業外収益		
受取利息	190	681
受取配当金	884	1,045
持分法による投資利益	1,183	1,055
為替差益	2,293	1,932
その他	705	719
営業外収益合計	5,258	5,434
営業外費用		
支払利息	667	832
社債発行費	—	0
その他	374	505
営業外費用合計	1,042	1,338
経常利益	30,242	30,702
特別利益		
固定資産処分益	14	3
投資有価証券売却益	3,354	9,712
特別利益合計	3,369	9,716
特別損失		
固定資産除却損	421	348
事業整理損	719	—
特別損失合計	1,141	348
税金等調整前四半期純利益	32,471	40,070
法人税、住民税及び事業税	8,565	8,359
法人税等調整額	1,106	1,847
法人税等合計	9,671	10,207
四半期純利益	22,799	29,863
非支配株主に帰属する四半期純利益	588	111
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,210	29,751



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	22,799	29,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,234	4,633
繰延ヘッジ損益	15	△43
為替換算調整勘定	17,885	16,192
退職給付に係る調整額	1,448	△267
持分法適用会社に対する持分相当額	604	574
その他の包括利益合計	14,719	21,088
四半期包括利益	37,518	50,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,524	50,092
非支配株主に係る四半期包括利益	994	858

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	32,471	40,070
減価償却費	14,251	15,283
のれん償却額	29	31
受取利息及び受取配当金	△1,075	△1,727
支払利息	667	832
持分法による投資損益(△は益)	△1,183	△1,055
固定資産除売却損益(△は益)	406	345
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,354	△9,712
売上債権の増減額(△は増加)	3,097	△2,627
棚卸資産の増減額(△は増加)	△28,586	△658
仕入債務の増減額(△は減少)	△925	7,872
その他	△1,781	8,915
小計	14,016	57,568
利息及び配当金の受取額	1,081	1,982
利息の支払額	△802	△808
法人税等の支払額	△6,524	△9,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,770	49,192
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△36	△4,165
有形固定資産の取得による支出	△21,015	△32,576
有形固定資産の売却による収入	225	26
無形固定資産の取得による支出	△959	△1,165
投資有価証券の取得による支出	△54	△63
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,949	11,400
貸付けによる支出	△71	△4
貸付金の回収による収入	312	406
その他	△550	△630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,201	△26,773
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	22,604	△6,264
短期社債の純増減額(△は減少)	—	△10,000
長期借入れによる収入	5,419	9,519
長期借入金の返済による支出	△10,301	△4,107
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△5,321	△5,713
非支配株主への配当金の支払額	△742	△893
リース債務の返済による支出	△501	△642
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,156	△28,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,871	5,108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,403	△574
現金及び現金同等物の期首残高	87,986	93,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,583	92,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	8,030	16,164	39,745	75,215	123,559	262,715	3,517	266,232	—	266,232
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	103	74	—	7,397	157	7,732	6,200	13,933	△13,933	—
計	8,133	16,238	39,745	82,613	123,717	270,448	9,718	280,166	△13,933	266,232
セグメント利益 又は損失(△)	702	373	△16	10,386	14,461	25,907	118	26,026	—	26,026

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,877	14,683	47,132	91,125	108,696	268,514	2,490	271,004	—	271,004
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	153	—	4,619	71	4,844	6,907	11,751	△11,751	—
計	6,877	14,837	47,132	95,744	108,767	273,359	9,397	282,756	△11,751	271,004
セグメント利益 又は損失(△)	481	△1,101	△140	21,119	6,125	26,485	122	26,607	—	26,607

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間において、従来「メディカル・ヘルスケア」に含めていた化粧品原料1,3-ブチレングリコールを、「マテリアル」に変更し、「セイフティ」に含めていた新規医療デバイス研究開発機能を、「メディカル・ヘルスケア」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。